

# 日本画像学会 シンポジウム 『画像技術のイノベーション』

## — どこまで広がるイメージングワールド —

### ■開催趣旨

電子写真技術は、主に事務機器分野で実用化され、今やオフィスには不可欠なものとなっています。しかしながら、事務機器用途だけでは新興国では需要が見込まれるものの、先進国での紙媒体への依存減少もあって、市場全体では「微増」との見方が多いと思います。

事務機器以外への展開として印刷分野への応用が検討されていますが、印刷品質面において、十分満足できる技術の確立が望まれる状況です。一方で、広く画像技術と捉えたと印刷エレクトロニクスや、光造形技術による立体プリンタなど様々な応用例が登場しています。

そこで、日本画像学会関西委員会では、「画像技術のイノベーション、～どこまで広がるイメージングワールド～」と題し、「画像技術を利用し、他分野へ展開していくためにはどのような技術革新が必要であるのか？」その手がかりを見つけられるよう、シンポジウムを企画しました。

聴講者にとって今後どのような技術革新を進めるべきかを考える手がかりになればと考えております

■開催日 2013年5月17日(金) 9:10～17:00(シンポジウム)、17:15～19:00(情報交換会)

### ■プログラム

講演時間	講演内容	講師
9:10～9:20	実行委員長挨拶(開催趣旨説明)	岩田将和(三洋化成工業)
9:20～10:05	印刷技術のメディカル分野への応用 — 再生医療を例として —	高橋 洋一(大日本印刷)
10:05～10:50	Nissha IMD(成形同時転写システム)	伊藤 忠広(日本写真印刷)
10:50～11:05	休憩	
11:05～11:50	デジタル印刷機としての電子写真技術の進歩と将来	服部 好弘(ユニカミノルタ)
11:50～13:00	休憩	
13:00～13:45	デジタル印刷を活用したラベルパッケージイノベーション	山田大策(日本HP)
13:45～14:30	エプソンのデジタル捺染への取り組み	片倉 孝浩(セイコーエプソン)
14:30～14:45	休憩	
14:45～15:30	3Dプリンターをめぐる、マーケットとビジネスの変貌とトレンド	小林 広美 (スリーディー・システムズ・ジャパン)
15:30～15:45	休憩	
15:45～16:55	パネルディスカッション	座長:川上哲哉(京セラ) パネラー:講師の皆様
16:55～17:00	日本画像学会 関西委員長 挨拶	北岡義隆(パナソニックシステムネットワークス)

■場所 ハートピア京都 3階 大会議室  
〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地  
TEL 075-222-1777 / FAX 075-222-1778

■情報交換会 会場 ホテルハーヴェスト京都 1F「丸太町 SAKON TAROU」  
〒604-0861 京都府京都市中京区烏丸通丸太町 西南角 ホテルハーヴェスト京都 1F.  
TEL 075-256-7675



■定員 200名(予約枠)になり次第、締め切らせて頂きます。

■シンポジウム参加費 参加費は会場にて当日お支払ください。

会員 <sup>注1</sup>	: 8,000 円
非会員	: 15,000 円
学生	: 2,000 円

注1:維持会員団体および協賛団体の会員を含む

■情報交換会参加費 会員種別に関係なく一律 1,000 円 (税込み)

■申込方法 Web による参加者の事前登録を実施致します。

(日本画像学会ホームページ <http://www.isj-imaging.org/isj.html> )

当日は参加証(参加申し込み【〇〇】登録完了通知)をご自身で印刷し、受付に提示ください。

止むを得ず当日の申し込みとなる場合、受付にて、正会員の方は会員証を、  
維持会員団体所属の方は維持会員証(1枚につき1名利用可能)をご提示下さい。

キャンセルは、講習会前々日 16:00 までに事務局へご連絡下さい。

以降のキャンセルは有償(シンポジウム参加費)と致します。

■連絡先 一般社団法人 日本画像学会事務局 (Tel 03-3373-9576 Fax 03-3372-4414)

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内

ホームページ: <http://www.isj-imaging.org/isj.html>

■主催 一般社団法人 日本画像学会

■協賛予定団体 (一社)画像電子学会、(一社)日本印刷学会、(一社)日本機械学会、  
(一社)日本写真学会、品質工学会

■企画・運営 日本画像学会 関西委員会